

宮城県東部沿岸大規模被災市町連携会議の設置と

宮城県知事との意見交換について

《市長コメント》

本市を含め、気仙沼市、南三陸町、女川町、東松島市の5市町は、宮城県内でも特に被災が甚大な自治体であります。

各自治体では、住まいの再建やなりわい、産業の再建について全力で取り組んでいるものの、様々な課題が続出し、再建のスピードが上がっていないのが実情であります。

この被災が甚大な自治体ならではの現場の課題を共有し、その解決に向け一丸となって、制度の拡充や弾力的運用の要望等に取り組んでいくことを目的に、連携会議を設置したものであります。

5市町が抱えるさまざまな課題を解決していくためには、宮城県と一体となって進めていくことが必要であり、去る、8月20日に宮城県知事との意見交換会も開催したところであります。

今後、この活動を国・政府への要望活動という形に展開していき、課題の解決を図り、早期の復興へとつなげていきたいと考えております。